

令和3年度 港湾及び海洋土木技術者のための ROV 等水中機器類技術講習会
プログラム

受講期間 2022年2月2日(水), 2月3日(木)
受講アドレス 受講手続き完了後に別途ご案内します
受講申し込み 以下のメールアドレスに申込みください(2022年1月30日(日)まで)
sodeta@p.mpat.go.jp

2月2日(水) 13:00-17:30 : ROV 講習

- (1) 平塚総合海洋実験場のご紹介 13:00-13:10
林 昌奎 (東京大学生産技術研究所)
- (2) 研究開発動向の紹介 13:10-14:50
 - ①海中ロボット関連の最新の研究動向
巻 俊宏 (東京大学生産技術研究所)
 - ②栈橋上部工点検用 ROV とその支援機能
田中 敏成 (港湾空港技術研究所)
 - ③捨石均し機と浚渫ロボットについて
松本 歩 (五洋建設株式会社)
- (3) 実務編 15:00-17:30
 - ①ROV のしくみと運用上の注意
中島 健夫 (株式会社キュー・アイ)
 - ②広和製品の紹介及び ROV 概要と機能
増田 慎哉 (広和株式会社)

2月3日(木) 13:00-17:30 : 水中音響講習

- (1) 平塚総合海洋実験場のご紹介 13:00-13:10
林 昌奎 (東京大学生産技術研究所)
- (2) 研究開発動向の紹介 13:10-14:50
 - ①海洋音響工学関連の最新の研究動向
横田 裕輔 (東京大学生産技術研究所)
 - ②水中バックホウにおける音響画像の活用
平林 丈嗣 (港湾空港技術研究所)
 - ③吊荷回転制御装置と水中遠隔玉外し装置～水中作業の無人化に向けて～
金子 貴一 (若築建設株式会社)
- (3) 実務編 15:00-17:30
 - ①水中作業に必要な水中測位 ～今さら聞けない基本のキ～
佐藤 友亮 (日本海洋株式会社)
 - ②高濃度スラリー/高固形度凝集体輸送用ポンプ装置の紹介
竹内 俊英 (株式会社東陽テクニカ)
近年導入され始めた最新の海洋計測技術
- パラメトリック SBP 技術の紹介
- 洋上無人ボートによるマルチビーム測量
柴田 耕治 (株式会社東陽テクニカ)

※CPDのための受講証明書が必要な方は、受講後に100文字以上で受講によって得られた所見や気づき等についてご回答ください(受講証明書発行のために必須)。

※各受講内容および受講時間は変更される場合があります。予めご了承下さい。
